報價目
一ヶ月以上…
…錢五吊四百文至五吊
…上車三十餘輛
遼東共來七十餘輛
元…六吊九百至六吊八百

一…十…
一連紙　一連　一圓…
一フールスカプ全　四圓
一中判洋紙全　二圓
一半紙罫紙　百枚　二十錢
一巻紙　四十枚續　十四錢

一椅子…
一鐘筒　三十圓以上三十五圓
一卓子　四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛　六圓以上十二圓
一廚房用戶棚　七圓五十錢以上十圓

一繡毛布　一枚…
一長火鉢　四圓以上六圓五十錢
一箱火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一宜德火鉢　一對　二圓以上三圓五十錢　六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Telephone No. 29.
Newchwang.

告料
一半ヶ月以上　銀十五仙乃至十…
一ヶ月以内
一長期連掲減價面議

發行所
清國營口中盛街
滿洲日報社
（電話二九番）

滿州日報

〇報價目
每月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
〇告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議
從減　每張四百文

特別廣告

資本金貳千四百萬圓
積立金一千壹百五拾萬圓
本店 橫濱
支店出張所
神戶 東京 長崎 大阪
倫動 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
電話 十番 支配人室
百八番 事務室
橫濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
相模丸　大沽、芝罘、仁川、釜山、長崎、門司、神戶行　四月十日發
橫濱丸　大沽、芝罘、門司、神戶行　四月五日午前九時發
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店　旗昌洋行（電話廿六番）

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告
潮州丸　門司 神戶行　四月四日着 仝七日出帆
代理店　東營口公園地橫　ブツシユ兄弟商會　遠來洋行（電話二十三）

瀛船出帆廣告
日之出丸　四月六日長崎直行
摩耶山丸　四月八日門司神戶行
末廣丸　四月六日門司直行
日勝丸　四月六日入港
日海丸　四月五日入港
錦龍丸　四月七日芝罘行
香椎丸　四月五日芝罘行
萬成源丸　四月八日龍口行
日米丸　四月五日午前十一時天津行
營口代理店　松茂洋行船部（元神廟街三〇六號（電話五二））

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞此本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需國本主人啓

宅合名會社分莊
運輸部
本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印幷其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋襪鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸
這般特得官准開設火車轉運行於東西兩店幷牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚
總司理人田中賴之助謹白　電話 東店五五 西店一…

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢彙代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜彙灣有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚邇通知之　正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號
保裝運各幫火輪船生意彙賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街…工白洋…肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價値格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街 東 櫃（電話九十五番）
西義順棧內 西 櫃（電話架設中）

代代木烟公司
本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（…）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價値極廉諸君欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船
摩耶山丸　穎朝丸
專往東洋各埠
啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行幷各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌啤酒日本清酒一概俱全另有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷
松茂洋行（電話五十二番）

三井
電話　第六十六號　第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近恕蒙各商光顧請駕臨是荷

〇發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理
〇明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

〇發售、日本白米、

〇東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

三井洋行
電話　第六十六號　第九十一號

生徒募集
營口瀛華實學院招入學生
今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し曩に督促書を差出したるも尙遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口瀛華實學院
本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午四點過期不候特白
營口瀛華實學院

周 東清鐵道 裕和盛運輸局
（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年幷分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東淸鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲
運輸部主任 高濱麟太郎
謹啓

營口商業學校招入學生
宗旨　造成辨公實業家
學額　五十名
資格　十五歲以上文理明通者
夜班　專爲有志向學而白晝忙於謀生者計每晚兩點鐘之功課授以漢文算術商業學日語以一年爲限
學科　修身、漢文、詞章、習字、算術、圖畫、地理、歷史、理化、商律、簿記、理財、商品、商業學、日語、英語、體操
學費　特免惟寄宿舍生自備饌費餘皆本校墊辦
入學　陰曆三月初一日
本學校由客春開學以來肄業諸生頗著成効茲因添建樓宇增設講堂應需器具種々皆備現擬招入第二次學生
〇欲覽各樣詳細章程可到本校索閱

一、東清鐵道貨物取扱
一、貨物集配
一、瀛車貨物積卸シ
右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
關東總督府特許
丸重洋行
營口西北街（電一八番）
牛家屯停車場構內（電話四六番）

材木、荒物、販賣
秋田洋行
本店 下關 秋田寅之輔商店
營口永世街第一八四號牛野町

稅關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣
弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市內貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依賴ニ應シ御立換可仕尙其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
綏定門街第五〇
營口英國領事館東首
三仁公司（電話一五〇號）
小島榮歲

上海 中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行
營口青堆子

自煉瓦・瓦製造並に各種石材販賣
加州組
（電話八十六番）

●雜貨卸小賣商
附日用食料品
●菓子製造販賣商
●委托販賣商
●土木建築受負業
●瀛車積運送業
新民府孫家街
東洋號

太古輪船公司
啓者本公司自派溫州牛莊兩輪專走營口登州龍口一往一來接續不斷搭客配貨均由本行碼頭上落甚屬利便水脚素來公平船上應酬搭客無不週到歷經數年遠近馳名知者稱便用登報端以期廣告
營口太古輪船公司

鐵嶺電報

●**商品陳列所開館式** 鐵嶺 商品陳列館昨日開館式を擧ぐ來賓は土屋中將始め將校全体在住民數百にして構內立錐の地無き迄に充滿し餘興あり模擬店あり非常の盛會なりし

（四月四日發電）

倫敦電報

●**露國○選擧の結果** 露國の總選擧に於て政府の干渉を受けて有名無實の選擧を行ひたる少數の町村を除くの外總べての町村は立憲民主党の勝利に歸しつゝあり皇室の別邸を有するツアールスコイ、セロ、ペテルホツフ、プツイーナ、オラニエバレム等の諸町村の如きも全然民主党の手に落ちたり

●**候補者の捕縛** オデッサに於ける勞働者の第一選擧期日は昨日の豫定なりしが六十五名の候補者は自由主義に傾けりとの理由を以て悉く逮捕されたり

●**礦夫の同盟罷業** 米國に於ける石炭坑夫五十萬人は豫報の如く同盟罷業を爲せり

●**衛兵隊突擊を受く** ホッテントット民族は西南亞弗利加に於て獨國の衛兵隊を突擊し將校一名工兵十名を殺し四名を傷けたり

●**英國一年度の歲入** 三月三十一日を以て終りを告げたる英國一年度の歲入は十四億三千九百七十七萬五千七百六十圓にして前年度に比し六百〇七萬一千七百二十圓の增加を示し歲出に超過すること三千四百十一萬圓なり

●**ナタル土人の處刑** ナタル殖民地に於て巡査を殺害したる土人等は銃殺の刑に處せられたり

（以上四月二日發電）

●**露國の外債募集** タイムス新聞の報導する所に據れば露國政府は四月十五日の復活祭後直に巴里に於て五億萬圓の外債を募集する筈にて其內四億萬圓は巴里市引受くる豫定なりと云ふ

●**英國皇后の御遊航** 英國皇后アレキサンドラ陛下は佛國マルセーユ港に於て皇帝エドワード陛下と御同船あらせられ共に地中海に御遊航遊ばさるゝ旨仰せ出されたり

（以上四月三日發電）

雜報

●**露國政變豫測** ノーウオエ、ウレミヤの報ずる所に依るに露國の憲法と稱すべき同國根本法改正案は已に官報局に於て印刷せられ近き將來に於て詔勅と共に發布せられ露國法典の首卷の第一篇を廢し同法案を以て之に代ふべしと云へり、同案に據れば皇帝の權能の無限てふ意義は全廢せらるゝも皇帝の尊稱は變改せらるゝことなく獨裁の語は向後唯國際的獨立不羈の意味（即ち宗主權）に於て用ゐらるべし、同案には皇帝が憲法に對して宣誓するの條項なしと雖も此憲法を發布する詔勅中に皇帝が皇太子及び其後繼者をして憲法を遵奉せしむべきことを保證する文句を含むと云へり、次に皇帝は帝國議會並に帝國參議院と共に立法權を掌握實行し議會又は參議院の排斥する所となりたる法案は同開期間再び議會に提出せらるゝことながるべし、詔勅は依然其意義を存すべしと雖も元老院第一局に委ぬるに憲法又は國法に矛盾するの詔勅を變改するの權利を以てす議會を解散する塲合には其解散を命ずる詔勅に於て選擧の期日、次回議會の開會日を指定すべく選擧は解散詔勅發布の日より四ヶ月以內に行ひ議會は六ヶ月以內に於て開會すべき事とし國民の根本的權利は西歐各國の憲法に準して之を規定し國民は皆國法に對して平等と認められ其身分の不可侵を保全せんが爲め拘引せらるゝ時は被拘引者に一晝夜以內に公判に付せんことを要求せしむるの權利を與ふべしと云ふ

●**新領土の露人** 樺太南部に於ける我新領土に現住する露國臣民は其數僅に五百人餘にて重に農業に從事し居れども多くは刑餘の流民にて自由民とては殆んど絶望の有樣なれは何れも刑期の盡るを待ちて歸國せんと翹望し居る者のみにて久しく土着居住の志を有するに非るを以て是等の露國人も亦次第に去りて遠からず其影を留めさるへしされは我か新領土の各種事業は固より凡百の職業を擧けて悉く邦人の手中に歸すへきは近き將來に在るへしと云へり

●**京義鐵道の收入** 京義鐵道は軍用鐵道にして營利を目的とせさるも去る二月中に於ける一日の收入は最高約二千四百六十圓最低約千四百五圓一哩の收入は最高約七圓六十九錢最低約四圓卅九錢にして平均一日一哩の收入は約六圓に當れり軍の事情より成るへく公衆の便乘と貨物の輸送とを制限するの止むを得さる今日の經營方針の下に於て猶且つ此の收入あり今後の輸送も總て結了の上架橋工事も完成し客車の數亦增加するに至れは今一層の好成績を呈するに至るへしと

●**露國の無法虐殺** 露國にては內地の紛擾鎮定の爲め各地に戒嚴令を布き革命彈壓に汲々たるより嫌疑者と見れば續々拘引して裁判にも付せずして銃殺絞刑に處すること少からず爲めに人權を蹂躙すること甚しきより革命派機關新聞ルツシの如き大に政府の無法を非難し一たび死刑に處する以上は他日に至りて當局者の誤認に出でたること判明するも已に挽回すべからずして無法の甚しきものなれば此の非常法は速に實行を中止せざるべからずと痛論し其の無法の例證を擧げ曾てゴルツウイナに於てストブチクなる者を探偵の上捕へて銃殺したるに後に至り同姓異人なること判明し又某處に於てサポシニコフなる者を探偵し偶ゝ捕へて同く銃刑に處せしに又も同姓異名の人にして政府の犯罪者と目指して探偵せしはニコライ、サポシニコフにして銃殺したるはアレクセイ、サポシニコフなると判明したりとて大に當局者の處置を痛撃するの論文を掲げたりと

●**○○附○○○○** ○○○○○にては○○の○○に關しては○○○○○○○に附して所○し○りたるが○○○○の今日にては○○の如く特別なる○○を置くの○○あるを以て今回○○○を○○し○○○は○○○として內地の○○○又は○○より採用せらるべしと倘は○○○の○○も○○○○せらるゝ筈にて既に○○の○○を○りだる由傳へらる

●**樺太境界準備** 露國政府は樺太島日露境界線に關する正確の地圖を作製しつゝあり新任公使東京着の上境界確定委員の正員となり外に一名の副員は不日島港より當地に着すべく此の副員は此の程樺太の北部を視察せりと露國が例になく早手廻しを爲すは樺太沿岸漁業期以前に境界を定めおかん爲なりと

●**補助貨の改鑄** 貨幣法中改正案即ち補助貨改鑄問題に付き政府委員の辯ずる所に據れば五十錢銀貨の流通高は約三千萬圓、二十錢銀貨の流通高は一千八百餘萬圓にして改正案により之を改鑄せば純銀の餘り高六千二百六十餘貫にして之より改鑄費其他を引去り一オンス二十片と計算し八百萬圓ばかり國庫の利する所になるべしと而して金銀の比價を金一、銀廿一餘と定めたるは明治四年は金一、銀一四卅年は金一、銀廿八の割合なりしにより之を合して折半したるものなりと云ふ

●遼陽通信

安齋源一郎

▲**大島督憲** は來る二十日頃當地發程東上大觀兵式に參列さるゝ筈に御座候其留守中を以て總督府は旅順に移轉されべしとの事に候多分督憲は旅順へ歸任さるゝ事になるべしとの風説有之候、督憲歸任の際は夫人を携帶せらるならむとの話有之候

▲**停車塲司令部** の變体なる停車塲業務取扱所は昨日を以て全く撤退され、遼陽停車塲之れか事務の引繼を受け申候、軍人軍屬の便乘取扱、軍用品の輸送事務等一切普通停車塲の管掌する所と相成たるものと推察いたされ候

▲**遼陽驛狀況** 遼陽停車塲昨今の乘車人員平均は約三百人、之れか收入約五百圓外に貨物收入百圓內外に御座候、而して乘客行先地は奉天を第一とし營口、鉄嶺との順席にして之れに亞いては開原、昌圖、大連等に候遼河解氷後以大連行の乘客大いに減少せり之れに反して營口行日々に增加の傾向相生し申候、總乘客約三百人の內日本人は僅々二十人內外即ち全体の十五分一に過ぎさる次第に御座候

▲**遼陽師範堂** 本科師範部生徒は現時在籍者九十餘名にして內官費生二十七人、之れか生徒年齡は年少二十五歲、年長三十一歲、小學堂生徒在籍數は五十三名、年少十五歲、年長二十三歲等に御座候 師範傳習所、これは速成科にして重もに遼陽の城の內外に居住する讀書人及ひ地方に在て村塾を開き年少子弟に漢籍を敎授しつゝありし者を募集したるものにして速成以て之れに新智識を注入以て異日起すへき學校敎員たらしむるの趣旨に則り督促入學を强へたる者なり故に年齡五十歲以上に達する者さへあるに到れり、目下在籍者五十餘名ありと云、不日遼陽州內二十餘個所の新小學校は設立さるへく之れか計畫ありと云ふ、而して之れか學堂の敎鞭を採る者は此傳習科を卒業したる者ならさるへからすと限らる、渠等の進んで爭ふて入學を爲したるもの全く斯る勸議あるを窺ひ知りたる結果なるへしと想像いたされ候、同學堂創立の際に於ては各科四十人宛の學生を募集する成案なりしに應募者五百餘名に及へりと以て知る同師範學堂の創設されたるに對する人心の傾注如何を……目下之れに敎鞭を振ふ者は東亞同文書院卒業生なる犬飼大助（敎頭）及ひ同窓富尾章（敎授）外關谷盛次の三本邦人及ひ在遼陽の紳士趙祖昌氏等に御座候、而して遼陽知州何厚琦氏之れを統へ監督する所に御座候、同學堂は創立費一万五千圓を投して起りたる者にして一個年の經常豫算二万圓也、成蹟俱に他に同時に起りたる各地の學堂に超越して進運に嚮ひつゝありと斷言するを憚からさる次第に御座候

▲**滿洲座の開演** 凱旋軍隊慰籍の爲め大連に於て時々開演せられつゝありし滿洲座歌舞妓の芝居、滿洲座とは其實滿洲倉庫本部の指揮監督の下に活動する所の兵隊芝居、而かも其座長は日匹一等主計正樣に御座候、一昨々は軍人軍屬に觀覽を許され、一昨は民間にも御裾分けを蒙むりたり、昨日は特に民間居留日本人の爲めに開演いたされ候、其藝題は前狂言としては義經千本櫻の道行、中狂言は碁太平記白石噺揚屋の塲、切狂言扇屋熊谷の扇屋より鴫川迄、予閑を得て切狂言一幕を覗き申候、車輪の活動、躍々として技神に逼るものあり、素人芝居の兵隊さんワザ……こんな芝居が再ひ滿洲で觀れるものかとは決して以て阿諛の言にあらす恐れ入つたる兵隊さむの腕前、一覩三嘆仕候

▲**滿洲農園會** 當地に本部を構ゆる農園會にては四五日內に小麥の播種する筈との事に候、本年の計畫は補助として支那農夫を使役す主力は日本農夫三十名の力に倚賴耕耘せんと期待し居る由に御座候、本年の作付反別なるものを聞くに豆類及粟十五丁八反餘、陸稻六丁六反餘、小麥廿二丁四反餘、玉蜀黍一町二反餘、馬鈴薯四反、葱三反、茄子二反、西瓜一反、煙艸三反其他日本蔬菜等を試作するとの事、トニカク陸稻の如きは從來曾て耕作したる者なし、之れにして若し好成蹟を得んか將來の我滿洲殖民に資する所尠なからざるものあるを信して疑はさる次第に御座候（四月一日發）

●**摩耶山丸の入港** 松茂洋行汽船摩耶山丸昨日午后一時入港せり乘客は四十七人にして搭載物旭ビール六百箱外雜品四十個等なりと因に同船は六日午後芝罘大連經由門司大坂に向け出帆すと云ふ

●**三州懇親會** 加越能出身者は來る七日午後七時より日本館に於て其懇親會を開催すと云ふ

●**一昨日の旋風** 一昨日は恰も皇祖祭にて朝來快晴近來に無き好日和なりしに午後三時過ぎに至り狂風俄然として起り沙塵を捲き揚げて天地忽ち晦瞑一時市中行人を絶つ位の猛勢なりしかば東稅關前にてはチヤン公の舢舨一艘到頭風の爲めに覆へされて水手は最早魚腹に葬られんとしたりしも泳ぎ上りて生命丈け助かりしは不幸中の幸なりし

投書かご

▲理髮店、湯屋、料理店攻擊の聲出でてより世人の賛勵尠なからざるは無論至當の事なりと信ず然るに余は營口洋服裁縫業者も大に一考すべく勸告し度き事あり先日余の友人は大連に至り日本人の洋服店より色羅紗三つ組一着の洋服を仕立てさせ來りて其の代價二十圓なりしと云ふを以て余も同樣のものを仕立てさす積りにて當地二三の洋服店へ聞き合はせたるに驚くべし最低價二十八圓より最高三十四圓迄要求したる所ありたり思ふに在大連の日本商人は旣に平時の觀念を以て殆んど內地同樣の收利にて營業し、當地の商人は未だ戰時中の觀念を脫し得ざる者の如し斯くては將來滿洲內地の日本商人は大連に吸收し盡され營口は悲むべき寂寞を極むるなきや寒心に堪へざるなり、獨り洋服裁縫業者に止まらず各商人の一考を煩はす（○●生）▲近頃床屋征伐とか湯屋征伐とかゞ始まつたが僕は一時攻擊を受けた電報配達に對し總攻擊を始め樣と思ふども近頃すこしなまけ出した樣だや成程僕の所は營口でも西のはづれであるから勢ひ配達が遲れるのは千も万も承知して居る併し着局の日から一日も遲れて届と云ふ調子ぢやまるで電報と普通郵便と同じ事じやぞふかして成丈け早く配達して貰ひたいものですな郵便局のお役人樣方何とか良法を講じてください（在西營口の一人）▲料理屋征伐は同感であるが併しながら料理屋の如き營業は元々義理人情を辨へぬ暴慾一片の人間が爲す所であるから彼等に對し玉代低減など言ふは言ふ者の野暮だ彼等をして反省せしむる名案は彼等を擯斥して人外に置くか又は相互團結して暫く料理店に足を運ばぬとにする方が根本的征伐と思考するが江湖の諸君如何（建案生）▲近來無職の徒が大分增へた樣だが旅の恥はかき捨てと云ふ事もあるが一番は憶にお茶の子だ僕は過日市中を八方に探し廻りて漸く直しを賴みた所がカヽトの裏打ち丈け靴直しを始めたらどふだ日に三圓や四圓の收入に一足で一圓二十錢取られた一足の裏打を一圓位で引受けたら一日に五足や八足は受合である（困難生）▲營口の人物として見るに足る可き人物に付て長所短所其他月旦の材料になりそふの事に付き聞知せるの諸君は本社覆面郎宛にて御投書を賜ふ（覆面郎）

●**馬賊捕縛せらる** （牛家屯） 近來滿洲內地に於て馬賊の頻々橫行しつゝある事は屢報の如くなるが我營口憲兵に於ても或は當地附近にても危害を加ふるやも計り難くとて警戒嚴重怠りなかりしが如何なる命知らずの者なるや何れより來りしか一昨夜午前二時頃一名の馬賊牛家屯驛附近を徘徊し降車客の某滿商を睨い脅迫しつゝあるを豫てかゝる事もありと其筋にては充分警戒し居る事とて直ちに現認し捕縛の上警務課に引致し昨今取調中なりとは小氣味のよき事なり

●**お富男子に化ける** 藝者仲居連中が松旭齋天一をも凌ぐ巧みなる手品を操つて垂涎三千丈の鼻下長を化かす業は隨分之れ迄よく聞く話なれど女が男に化ける藝當に至つては恐らく營口四百を以て數ふる猫どものどれ一疋として及ぶ所にあらず、つい先月迄金城館にて一方の旗頭として或る時は嚴めしき御前の夜伽を勤め寵愛斜めならざりし腕利の豪の者と唄はれし事もありて一時は中々の誤全盛なりしお富（卅二）の裾流石は龜の甲より年の効と云ふ諺に違はず橙の數澤山戴きし加減が何時迄もかゝる賤しき娼賣をなしては末生涯の立塲を失ふとて彼等の社會に少々不似合なる了見を持ち數多く來る客の其中で借老の契りをなすべき人もあらんかと內々あれかこれかと詮議中ふと目に留まつたのは同館に宿り居る元通譯殿の某此人なればとチヨカイを試みたる所一も二もなく合點と二つ返辭の嬉さに最早ためらふ時にあらずと種々の話合も首尾能く纒り高砂の諸目出度丸髷姿の花嫁と變じ直樣粹とか意氣とか云ふ隅田のほとりであらぬ豊濟門街に一家を構へる事となりお二方手と手を引合ふて急に宿替の新世帶世間の見る目も浦山しく面白可笑暮して居る中に如何なる前世の因緣か將た又誤娼賣中に男を化かした報か今日此頃は梅毒全身に廻り黑ろ〱とした大丸髷も結べぬ○坊主の姿に變じ近頃は前から見るも後から見るも男に間違うとは餘程滑稽な化け方也

乙巳九秋觀旅順口戰後之狀吟感

岩城黃雨

難陷堅城半歲衡　頑强敵帥請降容
登瞰二百三高地　地峽千軍萬馬蹤

同　秦灝年

捨命忘身鋒鏑衝　男兒敢死自從容
饒他鐵壁金湯地　終掃强虜百戰蹤

同　近藤孤山

强勢恰如疾雨衝　金城忽陷請降容
月寒二百三高地　空照悽愴亂戰蹤

同　岩城黃雨

山頽巖碎自長歎　殘壘荒城事旣非
誰憶天兵占大捷　輕身亘不斯歸

同　秦灝年

陣雲蕣蕣夕陽歎　老鐵山頭矚目非
漫說王師征討易　堅城不陷死撫歸

同　近藤孤山

虫鳴殘壘自悽歎　人對夕陽萬感非
欲弔亂軍亡興跡　四邊風色不如歸

汽車 ▲上行車時刻表 車站名 新民屯 … ▲下行車時刻表 車站名 …

税關手續 一、船舶輸出入荷物取扱

東營口郵便局東隣 ●島田洋服店●

諸鐵工製作 … 川鐵

天氣 營口地方天氣豫報 自四日午後六時至五日午後六時

小説 新作小説 おとし胤（二十八）

徳田秋聲

知らなかツた、知らなかツた。然うとも些ツとも知らなかツた。健三は驚いた、たゞ呆れ返ツた。それで有繋に少時は口も利かれなかツた。

「それでは、お前は尚だ知らんと見えるな。」と寛齋老人は、健三の呆れた顔を見ながら謂ツた。

「え、些ツとも………」と謂ツた時には、健三は、もう我に返ツて了ツた。そして躁ぐ心を押へて、驚いた顔も掻消して了へば、呆れた風も隱した、其の取済ました風を見ては、誰が光の爲に心を悩ましてゐる者と思ふだらう。誰が見ても戀を知らぬ純潔な少年だ。

「然うか。いや、無理は無い。何しろ餘り事が急だツたから。」

「然うですな。何んだか嘘のやうな氣がしますだね。」と健三は、鳥渡考へて「實は其の、今朝孃さんから、其樣なやうなことは鳥渡聞いたでさ。けれども今日のことゝは思はなかツたでございます。」

「そりや私も少し意外ぢやツた！」

「寝耳の水とは此の事でございますね。」

「然うぢや、私もの、夢のやうに思はれて、何うかすると、尚だ其處らに光が居るやうに思はれてならん。加之居るうちは、左までに思はなんだが、さて居らんやうになツて見ると淋しいの。」

「然うでございませうとも………第一御不自由でございますな。」

と健三は、謂はれぬ失望に心を悩まされながらも、尚光の爲に盡さうといふ決心を忘れぬ。彼は、老人の良愚痴めいた言に從いて、直に其の決心を打明けやうとするのであツた。彼は、光に對する愛情の悲痛と同時に、光の前途の運命を氣遣はぬでは無いが、明敏なる彼の思慮は、それは今や何程思ツても可及も付かぬことゝ、觀念した。其よりは眼前の不幸の老人を慰めるのが男の爲ることで、而してまた蔭ながら光の力になる道理である。言を換えていふと、彼は、光の爲に光の盡さなければならぬ幾分を盡すとを以て彼の義務と信じてゐるのである。今や此の義務を盡すことが、彼の取ツて唯一の愉快となツた。彼は此の愉快を以て、戀の熱情を滿足させなければならぬ。

恐らく何樣な君子でも、戀の魔に襲はれては、他に向ツて嘘を吐かねばならぬ場合が多い！また他に欺かなければならぬ機會が多い！健三は、今心の鏡を曇らせて、此の罪惡を犯さなければならぬ必要を感じた。彼に取ツては是が何よりの苦痛である。殊に此の徳の高い先生を欺くのは歴苦い！雖然戀の爲だから止むを得ない。必要に迫られてゐるのだから爲方が無い。彼は良心を押殺して老人を欺くことに度胸を定めた。定めてからも、大分躊躇ツてゐたが、思立ツては善にまれ惡にまれ止められぬ氣質。そこで斷然嘘の皮の口を切ツた。

「時に、先生。」と健三は、怖々しながら、「私は、孃さんから頼まれたことがあるのです。」

「頼まれてと？………光が、お前に何か頼むで行ツたのか。」

「はい、孃さんは、東京へゐらツしやるに就いて、其の、大變に先生のことを心配して居られたのでございます。」

「それは、私も知ツて居る。一体那女は根が孝行者ぢやでの、私が事では一方ならん心配をしたらしい。」

「然うでございます、非常に心配して居られました。多分誰に相談爲やうといふ方も無いものですから、私にお話なされたのでありませうが、孃さんの有仰るには、東京へは行きたいが、先生のことが心配になツて行かれない………もし誰か先生のお世話をする者があツたら直にでも行く……まア、此うなのでございます。」

と健三は、少し嘘をいふ。

寛齋老人は、點首いて、

「むゝ、那女にして見ると、無理ならんところぢや。」

「それで、もしも東京へ行くと定ツたら、私に先生のお世話をして呉れるやうにとのお頼だツたのでございます。」

これは、正に眞ツ赤な嘘だ！

「お前に？………」

と寛齋老人は、些か不審顏。

「然うでございます。私はまた、其のお頼を引受けました。」

これも跡方の無いことだ。それで健三は、心が疚しいので、上眼遣で、熟ツと老人の氣色を窺ツた。

蝸牛二首　紅雨

小き背に家を負いて移り住む虫の力に耻ぢよ邦人

敵を避け踏む道求めのばすなる我の角の上に爭ふは誰ぞ

春十句　野梅

海苔のよる程の風かな夜の海

歸る氾そうそはつくか小田の雁

若草や本草われに用はなし

雉子鳴や道は田のなり畑の形

氣になるよ今日も接木を見て過る

出代や新し草履はかんとす

寐返りをしても戸をさす田螺哉

白椿おのか雫によごれたり

落椿地響せしとはいれけり

蹄の臺にかしと鼻に聞え鳧

廣告　告示

三月廿二日第四回懸賞捕鼠抽籤執行したる結果當籤番號左の如し

一、當籤者賞金受領に付左の通り心得可し

一、當籤者は四月五日迄に衛生局に至り當籤札と引替へ現金を受領す可し

二、四月五日を經過するも尚賞金受領の爲め衛生局に至らさるものは其當籤効力は消滅す

三、賞金額

一等　銀五十圓　二等　銀十圓

三等　銀二圓　四等　銀一圓

三月廿二日第四回抽籤懸賞捕鼠號章程列左

一、當籤者於四月初五日以前持原籤赴衛生局領賞過期其原籤即消廢無用

二、賞銀額

一等　銀五十圓　二等　銀十圓

三等　銀二圓　四等　銀一圓

第四回捕鼠抽籤當撰番號

一等　二等　三等　四等

一五九三	一五八〇	二三四七	二〇九四	二二九三	二一九五	二五一一	二六五五	二五一七	一一九八	二六〇八	二一八三	二四六八	二一〇五	一三六〇	二六〇二	二六五三
	二四七五	二三一七	一七一三	一八九七	二四二三	一三二八	一七〇五	二〇八三	二四二二	二一三六	二五四二	一六六六	一六一九	二一四九	二二〇七	一七四一
	一七〇七	一四四七	一三八三	一六五七	一九三六	一九〇九	一三四五	二一六三	二二八〇	二九二八	一四七三	二五九一	一一四九	二二二三	二四八六	二五〇三
	一四四一	一四五〇	二〇八五	一七六八	二三九三	二一四二	一七四四	二二〇五	一四〇〇	二一八一	一三九二	一〇〇五	二九二三	一六二二	一九八〇	二四五八
	一七二六	二二八九	二二一〇	一九一〇	一七二〇	一九三〇	一二八三	二四〇九	二五五九	一四九二	二二四四	一五三八	一一〇五	一六四八	一五七五	二二九七

廣告　一生石灰　五千鑵

入札保証金各自見積代價百分ノ五以上

右購買す入札望の者は本月十三日までに當署經理課に就き入札心得書、契約書案、見本熟覽の上同十五日午前十一時入札すべし即時開札す

此契約は營口軍政官與倉喜平担任す

明治三十九年四月一日

營口軍政署

法律事務所の開始

生儀前ニ判事并ニ地方法院長等の官職に歷任し及び辨護士の職務を行ひしこと多年今般民刑訴訟の代理刑事被告事件の辨護訴訟事件の鑑定契約書起案法律顧問等總て法律に關する諸般業務の依頼に應ず

營口永世街金城館南隣り

從七位勳六等　小林一生

小林法律事務所

○但し應接時間は午後四時限り夜分の面會は絶對に謝絶す

北京　扶桑旅館

東單牌樓大街路西

客室清潔料理鮮新

御旅館　鐵嶺　西門大通　福屋　御料理

廣告　組合規約追加

組合員にして其内外を問はず妨害又は損害を加へられたる時は其旨事務所に届出べし此の場合に於て事務所は直に役員の審議に付し果して届出に相違なきときは之れを新聞紙上に廣告すると同時に組合一般に報告す組合員は其者と取引をなす事を得ず

右今般組合總會の決議に因り追加條項として相加へ候條及廣告候也

年月日　營口材木商組合

和洋會席御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候

營口永世街一本町

日本館（電話百三十）

各位樣

質屋營業

精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候

營口南永世街憲第三十六號

北斗洋行質屋部

料理部開業披露

弊館是迄旅館專業に御座候處今般新に料理部を開設し聊か紳士諸君の御引立に報ひんと存候就ては座敷向き等も凡て改築仕日本式の粋を擢み藝妓仲居も弊店付として内地より二十五名計り呼寄せ特に料理は東京有名の厨士を聘し材料に乏しき當地にては不可得珍味佳肴を供すべく一切の準備相整愈々本日より安直を旨とし開業仕候間何卒賑々敷御來遊の程偏に奉希上候

追而料理部開業と共に旅館部にも改良を施し御客樣の御便利御計可申候間不相變御引立の程願上候

旅館　料理　第一營口ホテル　第一樓（電話八四）

店主　山形光雄

土木建築請負業

山形工程局

主任　山形光雄（電話七九）

來る七日午後六時（營口時間）日本館に於て加能越三州會を開く三州の士、奮つて御來會あらん事を

但會費一人銀四圓當日御持參の事尚御出席の諸君は前日迄に日本人會水口虎藏宛御申込みを請ふ

發起人　平岡佳吉　神野艮　宮崎宗朝

御旅館　天津　駐屯軍御用　芙蓉館

並西洋料理

奉天日本旅館　瀋陽館

家屋宏壯清潔　接待優遇懇切

開放全時一開業

奉天小西門外十街路北

御旅館　豐陽館

上海（電話一〇六番）

日本郵船會社荷客取扱

歐米滊船乘船取扱

館主　米田藤吉

大阪商船會社荷客取扱所

内外船舶代理店　船舶貸借仲立

水陸輸送貨物仲次

輸出入税關手續

諸品委托賣買

艀船人夫運搬請負

倉庫業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候滊船御乘船之御方樣は御一報次第切符持參仕候尚御手廻り貨物持運ヒ等當店送迎組ニ御用仰付被下候へハ迅速確實ニ御取扱可申上候

末廣丸（一五〇〇噸）

四月六日午后門司、新潟行

西北街　徳重洋行

M. Iizuka,

Contractor,

Architect and Civil Eginneer.

Plans and specifications made to order.

Estimates submitted.

MODERATE RATES.

No. 151 Yuwansinmiao

Ying Kow

森病院

院長　醫學得業士　森　矯

副院長　醫學得業士　長船郁太郎

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時

一往診　午後三時より

▲患者の入院治療を諾す

▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄

姙婦の入院を諾す（産婆大道しげ子）

◎院長森矯久敷歸朝中の處今般歸營診療に從事す

◎本院齒科開設

齒科醫　兒島市郎

本月十五日より開設す

森病院

石材、碎石
並に自家製造
瓦、煉瓦
廉價販賣
奉日元神廟街四十號第二號
順吉洋行

CARTRIDGES.

——

We have just received a large assortment of Sporting Cartridges for 8, 10 & 12 bore Guns which we are prepared to supply at moderate prices, cash with order.

Apply to,
BUSH BROS.

獵銃彈新荷着
第八、第十、第十二號獵銃彈新荷到着廉價にて販賣致候間多少に拘はらず御注文被下度候
但貸賣一切御斷申候
ブッシ商會

本家 日本東京神田鍛冶町 堀内大藥房
淺田飴
あさだあめ
肺癆痰喘氣急傷風痰嗽小兒風痰病後體弱肺病一切立見奇功
◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥
有名賣藥醫藥醫科器械卸小賣
永世街 東瀛大藥房
房主 藥劑師中馬龍造

矢野洋行
Yano & Co.
電話一三七　Telephone No. 137
諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々
今回新荷着致候間直段ハ極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候
謹言

發賣 材木 標子 木板
塩川商會
清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉(電話一三六番)
遼陽小西門内 鹽川商會
●建築用材
外に電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本
用材北海道産松大角(自廿五尺至三十尺)一万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

旅人宿 東館
大連市信濃町卅九號地
特別ト親切ヲ旨トシ且ツ廉價ニ御取扱可申候

醇良自釀清酒

札幌ビール
朝日ビール
口付莨大和
酢 醬油瓶詰樽詰
菓子色々
鑵詰
洋酒類
右取次販賣
牛莊港東營口
宅合名會社營口支店

大日本東京
本舗 山崎帝國堂葯房處修
腦丸
腦丸者天下唯一之腦病靈藥也
腦病の名藥にして他に類なし
天授
天授者天下多多有咳嗽藥中之冠也
たんせきねつさましの一切の妙藥
大清國 總批發處
營口大街(永世街二本町)
藥司洋行 淺野爲三郎
藥劑士
福壽堂 大葯房
醫械藥材 有名靈藥 總發賣處

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿州一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

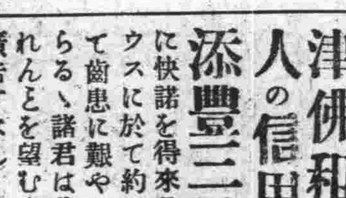
美味安價西洋料理 牛莊亭
弊店の特色は第一厨夫の腕
第二は材料の精
第三は輕便眞のオアレス
料理は普通上等特等の三種に分迅速に調理申べく候へども尚御好に應じて如何樣にても調理致し候又御通行の際御休憩御一服被下なば喜で御迎申候付ては諸洋酒コップ賣シガー壹本賣紅茶コーアコーヒー等御好に應候

官製口付莨、文房具
和洋酒類
鑵詰、菓子
藥品、雜貨
醬油瓶樽詰
防寒具、安價販賣
白米 卸商
營口西北街
豐生洋行
營口永世街七丁目(第二市場角)
(電話十三番)

軍隊用雜貨
日用品雜貨
呉服太物類
化粧品類 卸小賣
陶器類
食料品類
其外新荷着續々安價販賣
石原商店

萬事勉强乘車乘船如位置
營口中央市場前
旅館 東京樓
店主 熊田兼次郎
(電話丙七十八番)
西洋料理仕出し御需に應ず
即席和洋料理 東京樓支店
(電話四十四番)

會席料理 三日月
營口警務課前南に入る

御手輕料理
一釜飯御一人前 五十錢より
一卷壽し 一本 十五錢より
一湯豆腐 一壺 廿五錢より
一東京壽し 一人前 卅五錢より
右之外御誂に應す

營口元神廟街二〇九號
翁亭
月　日

一料理用白味噌、赤味噌、
一煙草類、東京淺草海苔、木炭、(萬)醬油、白米、上等鰹節
一鑵詰類、
一瓶詰雲丹、酒盗、コノワタ、
一清酒澤龜特約並に瓶詰、
一酢、ビール、葡萄酒、洋酒類、
其他日用品乾物雜貨新荷着仕候に付多少に拘らず御用仰付られ度伏て奉願上候也
東營口永世街第廿八号
雜貨商 大原洋行

廣告

齒の衛生治療は一日も等閑に附すへからす然るに當營口に良齒科醫無きは予輩の最も遺憾とする所なるを以て今回二三有志相謀り目下天津佛租界に於て開業し内外人の信用を博せる齒科醫田添豐三君の出張治療を乞へるに快諾を得來月上旬より本埠マンヂウリヤ、ハウスに於て約三週間許治療に從事せらるゝを以て齒患に艱やまるゝ諸君及ひ齒の衛生を重んせらるゝ諸君は此好機を逸せず續々治療を受けられんことを望む尚同君來營の期日は重ねて紙上に廣告すべし

三月三十日
營口有志者白

時刻

營口至天津	塘沽至北京	天津至北京	山海關至北京
上六、一二	上六、〇〇	上一二、〇〇	上八、〇〇
下一、二八	下一二、〇六	下五、二〇	下六、四五

天津至山海關	唐山至山海關	山海關至營口	溝邦子至新民
上六、二五	上六、〇〇	上七、〇五	上三、〇〇
下六、二[illegible]	上一一、五八	下四、五五	下六、五七

保管可申候
市場北三階樓 時計店ノ二階
宮原公司

同支店
新民屯停車場前
土木建築用鐵材料 其外鑄物諸般

市場豫報

昨日氣溫
昨日の氣溫 最高溫度四十二度八 最低溫度二十六度六
昨年との比 低七度九 低六度三

宮門抄

初七日
刑部 都察院 大理寺 廂紅旗值日巡警部引見十七名 鑾儀衛三名 提督衙門十八名 正黃滿一名 嚮導處六名 內務府七名
博公等謝署授缺 恩 張端本文綬傳闡泰伺候 召見
掌儀司奏初十日十一日祭
奉先殿洵貝勒檔貝子行禮
關防衙門奏十八日祭
大高殿拜表載振行禮
召見軍機 張端本 文綬 傳闡泰

上諭恭錄

上諭雲南鹽法道員缺着載林補授欽此

奏議

初七日奉

商部奏陝甘紳士籌築兩省鐵路並請派員總理摺

奏爲陝甘紳士籌築陝甘兩省鐵路並請派員總理會同本省督撫商辦以濟要工仰祈 聖鑒事竊臣部於光緒三十二年二月初五日接據陝甘兩省京官掌四川道監察御史王誠義等呈稱關隴與新疆唇齒相依土腴礦富久爲外人垂涎欲保新疆非亟修鐵路不可聞新任伊犂將軍長庚早已籌議及此而欲修新疆鐵路非先築陝甘鐵路亦不能一氣貫通使萬里坦行無滯況汴洛鐵路不日成功勢將由洛陽修至潼關而同蒲路線將來亦必與陝境連軌陝甘若不急圖修築非獨全省商業莫由振興竊恐坐失先機或貽後患誠義等有鑒於此爰於去歲秋冬間邀集同鄉京官會議兩省合辦先由潼關修至西安然後陸續擴充再由西安修至蘭州逐段興築至於西北則由固原以達甯夏西南則由漢中以接四川皆須先定規模權其緩急徐圖開拓惟兩省路工道長費鉅非籌畫詳盡策出萬全不能有濟正在擬議辦法公舉大員辦理路政間適接陝省撫臣曹鴻勛來信謀修西潼鐵路當卽復函力表同情旋據該撫奏明在案並請由部轉飭陝西同鄉京官等仿照江西浙江成例公舉有守有爲之紳士會辦路務等因伏思撫臣自蒞陝疆礦務學堂一切新政莫不加意整頓此次籌修陝路先其所急力肩重任尤徵器識宏遠但誠義等陝甘合辦原係全局統籌而撫臣先築西潼尤爲始基扼要議似兩歧事實一貫誠義等公同商酌擬照該撫原奏公舉內閣學士兼禮部侍郎銜李聯芳爲籌修陝甘鐵路總理所有用人招股勘路購地聘匠興修諸事均會同陝甘督臣詳慎商榷竭力籌辦並隨時呈請商部核奪查李紳聯芳守正才長輿論翕服其平日慮事精審周詳必能和衷共濟並查有兩省在籍紳士三品銜前戶部湖廣司員外郎晏安瀾前翰林院編修張林炎前吏部考工司郎中劉華員外郎銜候補主事劉光祖均講求時務辦事認眞並請派充協理至詳細章程誠義等亦擬定大略應俟命下再由該總理會同督撫體察本省情形詳密刪訂再行呈明立案誠義爲維持大局起見理合呈懇代奏再李紳聯芳既經同鄉公舉自應同陝會同督撫籌商一切惟係屬實缺人員並請奏懇 天恩毋庸開去底缺以資策勵合併呈明等語並據工部右侍郎劉永亨都察院左副都御史伊克坦函同前因並請照該紳等原呈核准代奏等情臣等伏查陝甘兩省爲西北大陸誠能修築鐵路使轉輸便捷於商務政權均有裨益前經陝西撫臣曹鴻勛奏請築修潼關鐵路並請 飭下商部知道欽此今該侍郎劉永亨等暨御史王誠義等通籌合計爲陝甘兩省會辦之舉將來西至新疆北達甯夏南接川漢譬諸棋局先布遠勢亦係全局在胸之策而仍以西潼爲入手之基核與該撫所請大致相符應准先行立案所舉內閣學士兼禮部侍郎銜李聯芳總理兩省鐵路事宜並請將在籍紳士三品銜前戶部員外郎晏安瀾翰林院編修張林炎前吏部郎中劉華員外郎銜刑部候補主事劉光祖等派充協理既據合詞呈請衆議僉同足徵該紳等顧念梓桑有裨大局合無仰懇 天恩俯准派充以重責任惟此項鐵路綿亘陝甘兩省路線既長工費尤巨必需官紳聯爲一氣合力經營方克逐漸收效陝甘總督升允辦事向來認眞陝西巡撫曹鴻勛既經創議於前亦必能成功於後應請 飭下該督撫會商該紳等堅持定見將籌款度地各事宜通盤籌畫次第措施毋得徒託空言至稽要政至李聯芳係實任二品大員該紳等所請免開底缺之處出自 聖裁臣等未敢擅擬恭候 命下卽由臣部轉飭妥擬詳細章程咨報核奪再行奏明辦理所有陝甘紳士籌築兩省鐵路並請派員總理緣由恭摺具陳伏乞
皇太后 皇上聖鑒訓示謹 奏

雜報

●有女私奔 本埠關帝廟北四甲居民有某甲者去歲曾爲該子娶媳周氏年十九齡雖有姿容詭隨特甚與一商鋪厨僮情好殊密竟竊啓鑰盜取甲之二百元付僮以亂紙絮綿置筒引火焚之詐稱手票幷付一炬刪數日甲又遣媳償還某戚家手票四十五元該氏藉乘帷車赴其姊家巧扮男裝偕僮渡河並坐汽車奔往京師詎適檢關敗跡被巡查脅掠財物一半放之西行迨甲知之急求趙李二姓給資斧六十元詢踪追去比至京師適於客店邂逅僮被官役擊遁空餘周氏一身錮於店內趙在店看守李回報甲前日甲又給李洋銀百六十元携其子仝赴京師未悉如何

●俄人計畫 據吉省來人云該省城附近各地屯駐俄兵前已一律撤退近數日間忽又來俄兵三千餘人幷向磨盤山一帶安設電線未審是何計畫云

●久假不歸 聞本埠有劣鴇董氏其夫於去夏死於天津該鴇固與山東王某苟合儼然夫婦特出洋百五十元賃一雛妓爲賣笑生涯茲屆瓜期該雛妓之親夫由天津來意欲備價贖回詎該妓與董鴇牽合強與夫離將妓夫毒打誣以拐帶刻其夫因人地生疏無力計較飲憾而去

●米價復起 本埠以南來大米甚廣致市價大跌前日由拾壹兩跌至拾兩零麥錢已達極點昨商爭相購買昨又漲至拾兩零五錢至七錢九錢矣聞昨商云本埠大行按石論銀値小市按袋論錢價每袋四斗 升半若以銀値合洋六元四角有奇云

白話

昨初十日、又是本埠萬國演說會第五次開會的日期、會友們到的很多、說得好的很不少、各位所說、盡是啓發民智的話、自不待言、我一時也難盡記了、惟有會正談鐵隍司馬、是第一次到會的、所說的話、尤能得其大體、親切有味、特意錄之報章、給大家一看

今日我們開會的諸位中西會友都請道來了 這是實在難得的盛會 況有海城縣管大老爺特別到此 我們這會更覺光榮了 但會友中我有見過的 也有沒見過的 不過現在同會 就是我們同志的人 我也不必過於客氣了 今天蒙我的學問也淺 閱歷也少 實在自己慚愧得很 今天蒙諸位中西各會友的盛意 公舉我作這演說會的會正 我如何敢當呢 是諸位既然恁麼抬愛 我要是十分推辭那不是辜負了諸位的美意了麼 我先說一件我對不起諸位的事 這演說會 從去年臘月到如今 也開了好幾會了 我都沒有能到 自己也覺得於義務上有點虧欠 不過其中也有箇緣故因爲去年冬天 我交卸了錦州府的事 有許多事要進省面稟趙將軍的 所以今年正月在省上就擱了一箇月的光景 那時候我還見過魏牧師來呢 一會實在是想來 又因爲督銷局有要緊的事所以又不能來 我會經請會友魁大人潘老爺 臨時替我說過了 以前幾會的時候 祇爲求諸位原諒我罷 但是這立會的宗旨過的幾會 諸位已經說過了 我也不用再說了 就是中國從前的時候 也有個申明亭 勿論鄉下或是大鎭店地方 找個寬大的房子 找幾個本地明白事理的人每月定下幾個日子 把大家百姓們 都讓他們來 聚在一處 把這個月裏頭 國家說的什麼話 地方官說的什麼話 地面上辦的什麼事 都按樣講給他們百姓聽 好教他們心裏都明白 這個意思 也和這演說會的意思差不多 今天我們諸位會友 在這營口通商的大碼頭 創立這會 是第一件大好事 這本地方的百姓 漫漫的就不難教他們開通了 文明了 我們這會就不算無益處！ 今天來的都是會友們 都是極文明極有學問的人 也不用我演說甚麼了 我只盼帮着諸位將來找一個大點的地方 能夠容得下大家百姓們來聽 那時候我們再按期把那些商務農務工藝學堂巡警 各樣情形 就如那商務罷應該怎麼的纔能興旺 農務罷應該怎麼的纔能多打粮食 工藝罷應該怎麼的想法改良 巡警罷應該怎麼的就於地方有益 學堂罷應該怎麼的纔能學出眞本事 一樣一樣 演說給他們人家夥聽 好讓他們明白 再將我們演說的 按會用白話編出來 上在各報紙上 教他們看 並且好教別處地方的人也看看 像這樣日子長了不但把營口地方的人 勸化明白了 就是別處的人 看見我們報上上的話 也不怕不有點益處呢 那時我們再聯合同志的人 在別的大碼頭地方 再立上幾會 也不辜負我們諸位會友今天這一番的苦心了 那就是 我們演說會的發達了 將來人人開通個個文明 那更是我們這會的發達到極點了 我今天先祝萬國演說會萬歲 萬國演說會 各位中西會友大家萬歲

NEWCHWANG, THURSDAY, APRIL 5, 1906.

A Kindness That Is Not Wasted.—(Part V.)

Bishop Graves of Shanghai has brought against the Japanese a grave charge—one that from the immeasurable damage it may do to the Japanese reputation, calls for a more tangible link of incriminating evidence to support it, the unseemly suppression of which is to be doubly regretted because of the weight his words may carry as they are.

What is "a certain class of work" the "Japanese" are alleged to be "translating and circulating in China"? What sort of "pamphlets" are being "poured and disseminated all over the Empire"? The newspapers of Shanghai" would seem to imply all of them. But, if not all, which of them have been referred to? Allowing that the work, pamphlets, and newspapers so vaguely hinted at, "promote and foster a revolutionary movement," as imputed, how much of the blame has the reverend Bishop laid on the Japanese? And that on what good proofs?

It is this lack of particularization that we complain of. It denies us an opportunity of disproving his statements categorically, even though it could be done. Nevertheless, it will not prevent a brilliant press genius like the Editor of the "China Review" from quoting him as the case has been for a responsible authority, to sustain the otherwise rabid utterances with. The reputation of a nation would seem to claim a more thoughtful regard at the hands of a prelate of his exalted position which in itself commands faith in his sayings.

Bishop Graves has alluded to a "revolutionary," but not to "the anti-foreign" movement in China, which latter has been our subject matter. These two agitations, each having a separate objective, must not be confounded with each other. The one aims at the overthrow of the existing order of things and is anti-Dynastic. The other wants to shut out foreigners and unites on the cry, "China for the Chinese."

Mr. A. Beltchenko, the newly arrived Russian Consul, took over charge of the Russian and Danish interests at Newchwang on the 3rd inst.

Lt.-Col. Yokura wired the Administration last evening of his departure from Ujina for Tairen in the s.s. "Kohinamaru" yesterday.

Mrs. Fulton arriving yesterday, herself and Rev. Mr. Fulton left for Mukden in the evening.

The many Newchwang friends of Mr. and Mrs. Leitch of Chenchow lately wedded will be pleased to learn of their intended trip to Haicheng. They are expected here to-morrow (Friday), and, after stopping overnight at the "Stoue House," will start on about a week's visit.

Mr. R. Kurosawa has been recently honoured with a cup of solid silver as a gift from H. I. H. Prince Kuni, who served throughout the late war on Gen. Kuroki's staff. The elegant present is some 5 inches in diameter and bears the Imperial crest of 16 petaled chrysanthemum engraved in the centre, encircled with a few buds and leaves. We are informed that a number of cups had been made to order by His Highness after the same design, for distribution among his personal friends by way of a remembrance of the campaign.

Tuan Li Tang (段利堂), 32 years of age, a bad character living near the East Gate, fell into the meshes of law while holding up a Chinese cart with two accomplices, last Tuesday afternoon. Towards evening two gendarmes and a native policeman of the Niuchiatun Branch Station, were out on their regular beat, so to speak, in open order, when the former's attention was attracted by several Chinese apparently engaged in a scuffle a little west of the railway crossing on the new main road to Newchwang. The gendarmes found their Chinese comrade in the thick of a desperate struggle with the highwayman Tuan whom he had caught before getting away as had his luckier partners done.

(April 4, 1906.)

JAPAN	Bank T.T.	99¼	LONDON	Bank T.T.	2/- 5/16
	" Dem'd	99½		" De'd	2/-3/8
	P'ate 15 d/s.	100¼		Cr. 4 m/s.	2/1
SHANGHAI	Bank T.T.	71	AMERICA	Bank T.T.	49¼
	" Dem'd	71¼		" Dem'd	49½
	P'ate 15 d/s.	72¼		Cr. 4 m/s.	51
TIENTSIN	Bank T.T.	102¾	Bar silver		29¾
	" Dem'd	102½			
	P'ate 10d/s.	101½			

營口旅館料理店案內（いろは順）

- 旅館　第一營口ホテル　元神廟街九十六號（電話八四番）
- 料理 旅館　第二營口ホテル　河岸通り
- 料理　第三樓　元神廟街三十二號（電話七九番）　店主 粕屋忠兵衛
- 料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎
- 旅館　日營ホテル　河岸通り　店主 井上源吉
- 料理　東京館　永世街八十六號　店主 村上京四郎
- 旅館　東茂旅館　西北街百七十三號　正金銀行西三程
- 料理　千鳥　元神廟街百三十三號　店主 吉住善藏
- 料理　沖の島　永世街百六十四號　店主 中川彌三郎
- 料理　吉野亭　永世街八十六號　店主 坪田正好
- 旅館 料理　高砂ホテル　高砂亭　西北街　店主 片山小みつ（電話一四五番）
- 旅館　竹村館　永世街二十二號（電話五一）　店主 麻田久二
- 旅館　大和館　永世街三十四號　店主 前田九一郎
- 料理　滿洲樓　南永世街第十號　店主 直塚勝一
- 料理　萬梅　豊濟門街第百〇四號　店主 田島彌助
- 料理　まんなをし　永世街字二本町二百五十九号　店主 和田常松
- 東京 生蕎麥一式　東庵　元神廟（電話百五十九）
- 旅館　金城ホテル　永世街百六十六號
- 料理　第二金城ホテル　永世街百六十六號　店主 倉橋富次郎
- 料理　醉花園
- 旅館　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主 澁田留吉
- 料理　喜樂亭　營口元神廟街
- 旅館　東雲旅館　永世街七號　店主 谷口今朝太郎
- 營口軍政署 御用旅館　東雲　主任 谷口今朝太郎
- ざるそば　第一更科　營口元神廟街
- ざるそば　第二更科　永世街鶴の湯角
- 御料理　柳亭　豊濟門街二三　店主 玉岡盆人
- 御料理 叮嚀專一　一力　營口永世街　店主 堀万助
- 並ニ溫泉　每日新湯
- 和洋料理　本店 松月亭　營口元神廟街一四三号
- 和洋料理 御旅館　支店 滿洲ホテル　遼陽西街西門一一七号
- 料理　都樓　平野町　店主 坂本ちか

遼陽旅館料理屋案內

- 旅館 料理業　日營ホテル支店　主任 井上源吉
- 御料理 會席　菊水館　主任 朝枝園捻
- 旅館 西洋料理　遼陽館　主任 永瀬宇吉
- 旅館 料理業　公陽館　主任 宮川秀基
- 御料理 會席　末廣屋　主任 山根初之亟
- 御料理 色々應御注文　凱旋亭　主任 古谷庄太郎
- 旅館 御料理　遼塔ホテル　主任 木村常吉
- 遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　營口東雲館支店　主任 谷口今朝太郎
- 會席　玉家
- 御料理　主任 西野治三郎
- 御料理 會席　來々亭　主任 石田清

一和洋御料理　遼東館　遼陽城內東街

本館は遼陽城內第一繁盛の地にあり內外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得へく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

奉天旅館料理屋案內

- 旅館　奉天館　奉天城內鐘樓南大街　奉天軍政署指定旅館（電話一五）
- 和洋御料理　日清倶樂部　奉天大南門裡大街（電話一四）
- 商人御定宿　瑞豐館　奉天小西關大街北側　館主 河野嘉吉（電話　號）
- 會席御料理 高等御旅館　天神樓　奉天小西關大街北側（電話　號）
- 旅館料理店　日の出樓　奉天小西門通（元紅葉館跡）　溫泉付大勉強キレーデフイシヒ　樓主 入瀬七造
- 旅館料理店　日盛館　奉天小西關大街南（電話十七號）
- 奉天城內灰市街東華門宮殿東側　館主 入江熊男（電話　號）
- 旅館 料理店　梅松館　館主 押尾富次郎（電話　號）
- 旅館料理店　大和館　奉天大西關高臺子廟前　館主 今井コノ
- 旅館　大正館　奉天小西邊門外十間房道北側　館主 大草村行
- 御旅館料理　高砂館本店　奉天十間房第十五號　奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すへき樣に相成居候間御投宿の節至極便宜に御取扱可申上候以上
- 御料理 旅館　奉高館　高砂館支店　奉天城外廿四號　店主 宇木智平
- 旅館料理店　日奉館　奉天小西門外大街　館主 原田清五郎
- 高等旅館　東洋館　奉天大西門外小什字街（電話號）　主任 藤島初野
- 御料理　梅ヶ枝　奉天小西門より一丁西の辻北入　館主 辻井ムメ
- 旅館料理店　勉強館　奉天小西關外北長發園隣

撫順炭大販賣
多少に不拘御用命被仰付度願上候
金城館販賣部

特別室落成
營口金城ホテル旅館部

會席御料理　金城館

奉天小西門外　會席御料理　高等御旅館　金城館

一關內外蘆漢鉄道貨物運輸　但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續　事務取扱　但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ
一鈔關手續　但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大淸通運公司　營口支店

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ぶも尚ほ不拂の御方は其姓名を掲げ新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也
營口旅館料理屋同業組合

西海洋服店
歐米各國最新流行形
永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

新着の御知らせ
東京より
蜂印香竄葡萄酒、羊羹、味付海苔、旅行用トランク、手提鞄、御婦人足袋、謄寫版、眞筆版、コツピープレス等
其他
雛立印白酒、寄木細工、漆器、陶器、金屏風等夫れ〳〵産地より着荷仕り候
新到
各種皮包、皮箱、文具格、畫掛、畫漆茶机、畫漆茶盤、金漆畫屏、金漆鏡臺、眞筆版、謄寫版、極上麝香水、蜂牌香竄葡萄酒、
營口 **加藤洋行**（電話八十番）

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種
營口元神廟前
飯塚工程局材料部（電話百三十五番）

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲疊
營口永世街八十號
喜久洋行（電話百五十二番）

大連 東洋ホテル
大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

發賣　標子　木板　料木
營口青堆子
清水寧木局（電話九十四番）

故沖禎介
追悼の爲め江湖諸賢より玉梓して一の紀念帖と爲し度き旨同存父沖莊藏氏より通知有之候就ては其紙數を一葉にても多からしめ以て存亡父子共の光榮を大ならしめ度く存候間廣く江湖の同情を得度廣告候也
一、紙判は美濃紙大
一、刻版は四月中に取かゝる事と存候
一、沖莊藏在沖繩縣那覇地方裁判所官舍
御問合の件あらは左に
新民府奈良崎八郎　營口瀛華學院上野政則
大淸通運公司安田貞藏
同志友人 敬白

御料理　滿月　平の町（電一六二）
滿月支店　平の町（元紅葉跡）
店主 青木[illegible]

爲替相場（四月四日）
日本向　九十九圓五十錢（軍票百圓に付）
上海向　七十一兩二十五錢（同）

日本品最近物價
洋紙 加藤洋行
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一全狀袋 二十枚綴 三錢二厘以上四錢　百枚 十三錢以上十八錢
室內裝飾品及寢具 矢野洋行
一疊 一薄縁 二圓六十錢以上三圓　十枚 八圓

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy.
本紙定價　一枚ニ付 銀四仙　一ヶ月前金 銀八十仙　半ヶ年前金 四弗八十仙